

2015.10.17 第三回大久保ワークショップ 藤崎図書館

1、図書館機能を残す

- ・市と連携して読みたい本を取り寄せることができるようにしてほしい
- ・大人の本は蔵書を持たない、子供の本は親が子に読み聞かせるため蔵書がほしい。
- ・フロア別に世代を分け、フロアをゾーニングする（パーテーションで区切ったりする）
三階は子供のためのスペースとして子供が遊べるスペース・読み聞かせの出来るスペース
- ・四階は大人の（学生の）読書スペースとして開放

2、図書館スペース以外について

- ・子育て支援のスペース⇒母親のため、母親の交流スペース
- ・軽く飲食ができるスペース⇒本や新聞を読みながら ex. ひだまり喫茶
- ・おしゃべりができるスペース ・ディスカッションができるようなスペース
- ・習志野産の野菜の直接販売（スーパーで買うのとは違う） ex、〇〇さんのにんじん
- ・藤崎周辺ではちょっと買い物といってもスーパーまで距離があるため、軽い買い物ができるようにしたい
- ・基本的にはレンタルスペースとして収益を見込む（四階）
- ・ボランティアで施設運営、健康マイレージのようなポイント制の導入
- ・一部は定期利用できるスペース
- ・企画講座（参加費〇〇円）を開いて運用資金に回す等。

3、開館時間・運用について

- ・夕方閉館では会社勤務の方などはほとんど利用できないので 22 時くらいまで開館時間を延ばす。
- ・3 階を小学生や未就学児・親子などのスペースとしても夕方以降はこれらの層は家に帰るため一般開放するなど時間帯によって利用者の年代層の限定を変え施設利用の無駄を減らす。